

学んだことを今後の闘いに活かす

青年部秋闘学習会を開催

11月24日、18時より、SKプラザ中会議室において、青年部秋闘学習会を開催しました。「2011賃金確定闘争の妥結と今後の課題」をテーマに、斉藤教官部長に講師をお願いし、今期確定闘争の経過と内容について詳しく説明をしていただきました。

青年部秋闘労働講座は、がどんなに困難なことか、毎年の確定交渉妥結後に開催し、その妥結内容と今後の闘いについて学んでいきます。斉藤さんに講師をお願いするのは、今回で連続5回目となりますが、毎回、

勧告の内容や、人事・給与制度、任用制度に関わる課題について、ホワイトボードを使って丁寧に、新入組員にも理解しやすく説明をしていただいています。今回の確定闘争は、タイトな日程において交渉が進んだことから、私たちも理解しづらい部分がありました。よって、交渉に入るにあたっての経過から妥結まで、国の動きも含めて、振り返ってお話くださるようお願いしたところで、

のように、首都東京における、特殊性・困難性のある清掃事業に従事する私たちに見合った人事・給与制度、任用制度を勝ち取り、より良い区民サービスが提供でき、退職まで安心して働き続けられる職場作りをむけ、青年部が先頭に立つてがんばらなければならぬと強く感じました。

今回の闘いにより、統括技能長の設置基準に「職務内容に応じて、任命権者が必要と認める場合」を加えることができました。これに基づき、各区において一人でも多くの統括技能長配置を勝ち取り、重すぎる職責を緩和させ、区民サービスの向上に繋げることが重要です。そして、そのことと連動し、技能長定数の拡大、技能主任配置数を向上させる取り組みが求められることが理解できました。

また、今年度をもって特別昇格制度の廃止が決定しています。しかし、たとえ主任ではなくても、長年の知識と経験を活かし、区民や事業者へのきめ細かい対応を行うなど、区政の最先端で日々奮闘する職員の努力が反映される制度を構築しなければなりません。



▲青年部が先頭に立って職場実態に見合った制度を確立しよう



新春シークワード

隠れた言葉を探そう!

ゾ	ツ	マ	サ	ミ	ガ	シ	ト
ウ	ラ	ジ	ロ	タ	ン	カ	ミ
ニ	オ	ハ	ゴ	イ	タ	ト	ネ
カ	ド	マ	ツ	シ	ン	フ	ン
ガ	タ	ダ	タ	ヒ	マ	リ	ガ
ミ	コ	シ	コ	コ	ノ	ソ	ジ
モ	ア	ト	ノ	ヨ	ゴ	デ	ヨ
チ	ゲ	オ	オ	ミ	ク	ジ	ウ



【ルール】

左図の中に、「お正月に関する言葉」が、たて・よこ・ななめの一直線に読めるように隠されています。下記の言葉をすべて探してください。例として「オトシダマ」が囲んであります。探し終わったら、どの言葉にも使われなかった文字を集めます。集めた文字を、ヒントに合った単語になるように並べてください。



【お正月に関する言葉】

ハツヒノデ	ハゴイタ
ウラジロ	オミクジ
ガドマツ	コヨミ
コタツ	コマ
カガミモチ	ゾウニ
ミコシ	ガンタン
タコアゲ	フリソデ
トシガミサマ	ネンガジヨウ
ミカン	

ヒント 不思議な姿の海の生き物。

解答と、支部、氏名をご記入のうえ、本部教宣部までお寄せください。正解者の中から抽選で30名の方に景品を差し上げます。

- ※ 締切日 1月27日(金) 本部教宣部必着(メールでも可)
- ※ 当選者発表 景品の発送をもって発表に代えさせていただきます。

ひとこと

私は東日本大震災をきっかけに有ることを始めました。それは、カバンの中に五百mlのお茶か水のペットボトルを毎日持ち歩くことです。また、タオルやバンドエイドなどケガをした場合や鉛や小さい保存食も合わせて入れています。外出時に震災などに遭遇した場合の準備です。友人には「重くないか?」「そんなに持ち歩かなくても平気だよ!」などと言われますが、気にせず持ち歩いています。

震災の時は偶然、家に居ましたが、もし、一人で移動中だったら、電車に乗っていたら、等と考えます。やはり「いざ!」という時は、自分の身を守るの自分分しかありません。

地元の言い伝えを思い出して高台に逃げたことから、津波被害に合わなかったという話もありましたし、「天災は忘れたころにやってくる」という言葉もあります。

東日本大震災からもうすぐ一年が経過し、地震や津波の怖さは段々薄れてきます。自分が考えられる最低限の準備は今後もしていくつもりですが、先祖や親から教えられた教訓を伝え続けて行くことも重要だと考える今日この頃です。